

機能要件

1.電子カルテ

項	機能内容
1 患者情報管理	
1.1 患者基本情報	
(1)	患者番号、氏名、年齢、生年月日、性別、アレルギー有無の表示が可能なこと。
(2)	他医療機関での入院履歴のメモ欄で管理が可能なこと。
(3)	紹介先、紹介元情報の履歴管理が可能なこと。
1.2 経過項目管理	
(1)	血液型、血圧、既往歴等、患者の基本データ登録が可能なこと。
(2)	既往歴、アレルギー等の情報は、画面に表示が可能なこと。
1.3 問題点・注意点等の表示	
(1)	問題点・注意点等の管理/表示が可能なこと。
1.4 病名登録	
(1)	カルテに記載する病名を入力することが可能なこと (パネル入力、ワープロ打ち検索)。
(2)	病名マスタの検索が可能なこと(読み)。
(3)	よく使用する病名を頻用病名として登録が可能なこと。
(4)	「症状経過」欄への転記が可能なこと。
(5)	処方・検査・処置などのデータから適応病名を表示し、 そこから病名入力が可能なこと。
(6)	レセプト等から病名候補をあげ、入力が可能なこと。

2 カルテ作成	
2.1 患者選択	
(1)	医事会計システムで受付をした患者の一覧表示が可能なこと。
(2)	患者番号入力により患者を選択することが可能なこと。
(3)	「一時保存」状態にある患者の一覧表示が可能なこと。
2.2 カルテ	
(1)	診療歴(受診歴)、検査結果の履歴の一覧表示が可能なこと。
(2)	一覧から選択した過去カルテ、検査結果が表示可能なこと。
(3)	診療歴(受診歴)、検査結果の履歴、過去カルテ等の一覧表示が任意の場所に移動可能なこと。

項	機能内容
2. 3 添付ファイル管理	
(1)	カルテに各種ファイル(WORD 文書等)をリンク可能なこと。
(2)	添付ファイルを対応されたアプリケーションで表示可能なこと。
2. 4 カルテ 2 号紙作成	
2. 4.1 ワープロ入力	
(1)	キーボードからフリー入力が可能なこと。
(2)	ATOK 医学辞書が標準搭載で利用可能なこと。
(3)	入力した文字列の修飾(色、サイズ、フォント、スタイル)が可能なこと。
(4)	語句や文章を登録してユーザ専用の辞書が作成可能なこと。
2. 4. 2 テンプレート入力	
(1)	コンボボックス、リストボックス、チェックボックス等による選択方式の入力支援ツールを有していること。
(2)	テンプレート作成が可能なこと
2. 4. 3 シェーマ入力	
(1)	専用編集ツールによる患部、所見コメントの簡易入力およびフリーペイントが可能なこと。
(2)	患部、所見コメントの初期登録/選択入力が可能なこと。
(3)	患部を表現するスタンプの登録が可能なこと。
2. 4. 4 セット入力	
(1)	診療行為をグループ化したセット形式での入力が可能なこと。
(2)	セットマスタはユーザーでも登録/変更が可能なこと。
2. 4. 5 ワープロ入力検索	
(1)	診療行為のワープロ入力による検索が可能なこと。
2. 4. 6 Do・コピー機能	
(1)	前回の診療内容全て、または処方等のみのコピーが可能なこと。
(2)	特定の剤または明細を選択してのドラッグ&ドロップによるコピーが可能なこと。
(3)	医事会計システムの会計データからの参照入力が可能なこと。
2. 4. 7 予定オーダー入力	
(1)	次回診療内容を予め登録し、診察時入力が可能なこと。
(2)	診察前に前回入力した予定オーダーの確認ができること。
2. 4. 8 割込み機能	

項	機能内容
(1)	入力中の患者を終了せずに、同時に他の患者カルテの割込み表示が可能なこと。
2. 4. 9 処方チェック	
(1)	極量、投薬日数等の投薬基本チェックが可能なこと。
(2)	薬の相互作用、配合禁忌、適応病名、禁忌病名のチェックが可能なこと。
2. 4.10 点数参照	
(1)	「処置/処方」欄に入力されたデータの算定点数が表示可能なこと。
2. 4.11 画像貼り付け	
(1)	カルテ 2 号紙に参照画像を貼り付け可能なこと。
2. 4.12 検査結果貼り付け	
(1)	検査結果参照画面で選択した検査結果をカルテへ貼り付け可能なこと。
2. 5 サマリー作成	
(1)	患者サマリーの作成が可能なこと。
2. 6 カルテデータ出力	
(1)	カルテ 2 号紙の印刷が可能なこと。
2. 7 処方箋印刷	
(1)	院内/院外処方箋を発行可能なこと。
2. 8 指示箋印刷	
(1)	指示せんを発行可能なこと。
2. 9 書状作成・印刷	
(1)	書状は WORD 文書形式が使用可能なこと。
(2)	書状作成時に患者情報並びに紹介先情報を取込み可能なこと。
(3)	雛型文書は WORD で対応可能な範囲で応じ、保守範囲内で追加・変更作成が可能なこと。
2.10 カルテ保存	
(1)	確定保存の他に一時保存も可能なこと。
(2)	過去カルテの修正履歴は版数管理が可能なこと。
(3)	クラウドバックアップが可能なこと。

3 カルテ検索	
3.1 条件指定検索	
(1)	入力済のカルテから条件(患者基本情報/病名/任意の文字列等)に該当する患者またはカルテが検索可能なこと。
(2)	検索した患者のカルテを参照可能なこと。

項	機能内容
(3)	検索した結果を CSV 形式で出力可能なこと。

4 画像系業務	
4.1 画像取込み	
(1)	画像ファイル(BMP/JPEG)から参照画像の紐付け表示が可能なこと。
(2)	スキャナ、デジタルカメラから参照画像を紐付けて参照可能なこと。
4.2 画像 WEB 参照	
(1)	WEBに対応した画像システムと連携して参照画像が表示可能なこと。

5 検査系業務	
5.1 検査結果参照	
(1)	カルテ検索と連動して検査結果の参照が可能なこと。
(2)	検査結果の時系列表示が可能なこと。
(3)	利用者が指定した検査項目のグラフ表示が可能なこと。
(4)	表示されている時系列データ等の印刷が可能なこと。
5.2 検査センターへの検査依頼	
(1)	オンライン、媒体による電子データで検査依頼が可能なこと。
5.3 検査センターからの検査結果取込み	
(1)	オンライン、媒体で検査結果値の取込みが可能なこと。

6 予約業務	
6.1 再診予約	
(1)	再診予約の予約枠管理が可能なこと。
(2)	患者選択画面で再診予約患者の確認が可能なこと。

7 診療科固有機能	
7.1 小児科機能	
(1)	小児の身長、体重の値を元に成長曲線の表示が可能なこと。
(2)	予防接種のスケジュール管理が可能なこと

8 モバイル機能	
項	機能内容
8.1 往診時カルテ作成・参照	
(1)	往診先で通信を通じてカルテの参照、入力が可能なこと。

9 セキュリティ	
9.1 利用者認証	
(1)	利用者 ID、パスワードによる個人認証が可能なこと。
9.2 アクセスログ記録機能	
(1)	カルテデータへアクセスしたログを記録可能なこと。

10 その他の業務	
10. ハードウェア/ソフトウェア	
(1)	原則、医事会計システムと端末が同居可能なこと。
(2)	クライアントはノートブック機の選択が可能なこと。
(3)	ハード本体、プリンターはメーカーの5年間保守対応契約を必須とし、メーカーと連携してサポートをすること。
(4)	操作ログは最低でも5年間は保管してあること。
(5)	ひとつのサーバーに障害があっても、もう一方のサーバーで運用継続が可能なこと